

トも開  
災て排  
夏休み  
つたり  
た。

成する緊急防災隊の防災  
訓練が8日、地震災害を  
想定して行われた。県下  
15地区に配備された班  
は、災害情報共有システ  
ムを活用して状況報告を  
中心に動作を確認した。

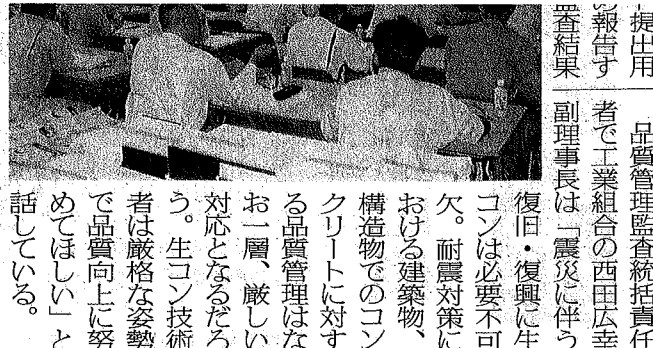
震度6強の地震が発生  
し、熊本県庁、総合庁舎  
県立学校などの計84施設  
が損壊したと想定。県建  
築課から2次災害防止の  
要請を受けた協会事務局  
が、隊長の岩永会長に連  
絡し、各地区の班長へ出  
動命令を出した。

本部を置く事務局では

を促し  
づいて  
報告書  
提出用  
報告す  
香結果

の判定に活用するための  
確な監査体制で臨むこと  
を求めた。

品質管理監査統括責任  
者で工業組合の西田広幸  
副理事長は「震災に伴う  
復旧・復興に伴う  
コンは必要不可  
欠。耐震対策に  
おける建築物、  
構造物でのコン  
クリートに対す  
る品質管理はな  
お一層、厳しい  
対応となるだろ  
う。生コン技術  
者は厳格な姿勢  
で品質向上に努  
めてほしい」と  
話している。



渡邊副会長、総務委員会  
の竹内委員長と大堂副委  
員長が待機し、災害情報  
共有システムの地図上に  
次々と報告される班員か  
らの建物被災状況を入念  
に確認した。

付近で道陸清掃を行っ  
た。上益城と宇城が合同  
で清掃活動するのは今回  
が初めて。

作業には合わせて約30  
人が参加。松橋ICを中

### ICT技術の理解深める 初の情報化施工講習会



国土交通省は  
今年を、生産性  
革命元年と位置  
づけ、iCono  
nstruct  
ionを推進。  
このうち「ICT  
技術の全面的  
な活用」につい  
てはiCono  
nの3本柱の一つ  
に位置づけられ  
ており、土工の  
生産性向上に向け

菊池川安全協力会（構  
成18社、緒方一明会長）  
は4日、中川組が施工を  
担当している中川地区河  
道掘削その他工事現場  
（山鹿市）で、ICTを  
活用した施工技術（情報  
化施工）講習会を初めて  
開いた。協力会構成会社  
のほかコンサル業者など  
から43人が参加し、技術  
の活用方法など理解を深  
めた。

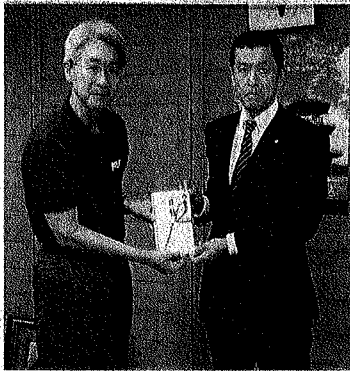
山鹿市の水辺の学習館  
ゆめほたるで開かれた座  
学では、菊池川河川事務  
所の田中満昭技術副所長  
が、iConoの取り組  
み概要等を解説。中川組

上益城の山下之三氏  
（矢部開発副社長）は、  
「宇城と上益城で協力し  
色々なことをやっていこ  
う」と話している。松橋IC  
は宇城・上益城の玄関  
の現場代理人・監理技術  
者の城戸昌信氏は、ICT  
T建機を活用した河道掘  
削工事現場（国交省菊池  
川河川事務所発注）の概  
要を説明した。また、日  
立建機がマシンガイド  
ス（MG）技術で、コイ  
シがUAV測量等をそれ  
ぞれ紹介した。

会場を現場に移して、  
ドローンやレーザースキ  
ヤナー、MGによる油圧  
ショベルについての操作  
実地研修を行った。参加  
者からは「勉強になって  
良かった」「今後も講習  
会を開いてほしい」など  
前向きな意見が寄せられ  
た。

### 県に100万円寄付

総合塗料メーカーの日本ペ  
イントホールディングス（本社東  
京、田堂哲志社長）は8日、熊  
本地震からの復旧・復興に役立  
ててもらおうと、グループ各社  
から募った寄付金100万円を



手島部長に目録を手渡す後藤九州支店長（右）

### 日本ペイントホールディングス

熊本県に贈った。日本ペ  
イントの後藤教仁九州支店長と上村祐  
一郎熊本営業所長が県庁を訪  
れ、手島健司土木部長に目録を  
手渡した。

贈呈式で後藤支店長は「熊本  
営業所を開設した直後に地震が  
発生し、驚いている。寄付はグ  
ループ会社の社員に募って集ま  
ったもの。復興に使ってほしい」  
と挨拶。手島部長は「徐々に落  
ち着きを取り戻ってきており、  
これから本復旧に移っていく」  
と説明し、寄付の申し出に感謝  
した。

同グループは、工場等に備蓄  
してある生活必需品や資材を発  
災直後から熊本に緊急輸送する  
など支援活動に取り組んでいた。  
寄付は大分県にも申し出ている。

### 火管（ボイラー）の復旧工事

15・16日の山鹿灯籠ま  
つりを前に山鹿地区建設  
業協議会（波多野憲壽会  
長は4日、ボランティア  
除草作業に汗を流した。

旧山鹿市建設業協会の  
時から続いている取り組  
み。山鹿、鹿央、菊鹿の  
会員ら30人が参加し、菊  
池川の山鹿大橋から山鹿  
大堰橋までの堤防沿い5  
00mを手際よく刈り取  
った。作業を見守った山  
鹿市商工観光課職員は  
「皆さんの協力無しにま  
つりは開催できない」と  
感謝していた。

協議会では、かもと招  
魂祭やかほくまつりでも  
協力しており、波多野会  
長は「日頃からお世話に  
なっている地元で、建設  
業の技術を生かした活動  
を続けていきたい」と話  
す。

### 宇土駅前に出店 カインズ

熊本県は、大規模小売  
店舗立地法による届出を  
受け、カインズ（本社・埼  
玉県）が計画しているホ  
ームセンター「カインズ  
宇土店」（仮称）の概要を  
公告し、縦覧をはじめた。

建設地は宇土市三拾町  
野原172-2外（敷地面  
積3万933平方m）で、  
JR宇土駅東口駅前広場  
隣り。建物の規模はS造平  
屋建9869平方m（店舗  
面積8260平方m）で、  
飲食店200平方mも造  
る。敷地内には、駐車場2  
05台分、駐輪場35台分、  
荷さげき施設108平方  
m、廃棄物等保管施設29立  
方m（容量）を設置する。

9月中旬着工、平成29  
年2月下旬完成予定。

三井金属エン  
日立ハイ  
の製造棟

日立ハイテク  
ズ那珂地区（茨城  
ちなか市市毛88  
計画している「大  
ンク製造棟」増築  
井金属エンジニア  
の設計・施工で工  
んでいる。

大牟田市手鎌1  
ノ1に建設してい  
品機械器具製造工  
造5階建延べ79  
06平方m。平成29  
初旬の完成を目指

原地区治山を  
熊本森林管  
工事発注見

熊本森林管理署  
成28年度工事発注  
に原地区治山工事  
（山鹿市）を  
た。山腹工で、主  
設資材見込は口  
ット工4370平  
工期は約8カ月。  
価落札方式の一般  
第2四半期に入札  
している。

平成30年  
成予定。

H28  
8/11  
西日本建設新聞